

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成24年4月号

編 集
発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区一番町13-3

一般社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(送料共)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

一般社団法人 日本病院会 通信教育部

連携と質

丹野 弘晃

十和田市立中央病院 院長

(前 宮城社会保険病院副院長)

宮城会場 基礎課程(臨床医学各論VI) 講師

第5次医療法改正の方向性から医療界のキーワードのひとつが「連携」となり、各病院は地域医療連携室を開設し、自院の機能分化と他施設との連携を推進しながら地域完結型医療を目指しています。私も立場上地域連携に関わっていますが、地域のニーズにきめ細かく対応するためには、院外との連携は当然ですが、やはり院内連携をより効率的に展開しなければならないと日々実感しています。病院は専門職の連携で運用されているわけですが、医師同士・医師と他職種・他職種同士のスムーズな情報伝達が必要ですが、当院では主に看護師さんがその役割を担っていますが、本来の看護業務ではない部分も多々あるような気がします。そこをバックアップできるのが診療情報管理士さんなのではないかと思うのです。

診療情報には、その病院に備った機能が表現されています。各職種間の連携がうまくいっているのか、病院機能が充分に発揮されているのかを読み取ることが可能です。診療情報管理士さんが、それを客観的に評価し、時には影のように、時には表立って、院内連携の摩擦を和らげたり、よりスムーズな連携に寄与したりと、様々な場面で活動できると思います。その結果として、医師や看護師等が本来の業務に専念でき、かつチーム医療の推進に役立つこととなります。

また、近年は医療の「質」が問われてきています。根拠(エビデンス)に基づいた医療(EBM)が実践されている割合を医療の質指標(Quality Indicator: QI)としてデータ化し、評価し、質改善に役立っている先駆的な病院も出てきています。診療情報を分析し、それぞれの病院ならではのQIを選び出し、提示できるのは診療情報管理士さんの特権です。その試みが病院の質改善に大いに貢献することになるでしょう。

医療界の「連携と質」はますます重要度を増しています。チーム医療の一員である診療情報管理士さんは、院内連携の評価者として、また医療の質の番人として活躍してほしいと思っています。是非頑張ってください。

